



まつやま

市議会だより

2011 No.295 平成23年11月1日

編集・発行／松山市議会 ☎(089)948-6652 ホームページアドレス <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shigikai/>

議場で講演会や演奏を楽しもう!

親しまれる市議会を目指して、議場で講演や音楽の演奏を楽しむイベントを開催します。この機会にぜひ議場へ足を運んでみませんか。皆様のご応募をお待ちしております。

参加者募集

日時 11月19日(土) 13時～15時 ※開場は12時30分

場所 市役所別館5階 市議会本会議場

内容

- ・釣りのチョーさんでおなじみ、長島幸雄さんによる講演
- ・『和楽桜鳴座』による和太鼓、篠笛の演奏
- ・『アンサンブル蔵』による木管六重奏

定員 120名(先着順。小学生以下は保護者同伴)

申し込み 平成23年11月1日(火)から電話で受付を開始します。(平日の8時30分～17時)
参加無料

応募先 議事調査課
電話：948-6650・6652

その他 申込受付後、入場整理券を送付します。当日必ずお持ちください。



長島 幸雄さん

9月定例会

平成23年度9月補正予算
26億2753万5千円を
原案可決

平成23年第3回定例会が、9月1日から22日にわたって開催され、22日に閉会しました。開会日には、市長が予算案等の提案説明を行い、9月7・8日には6人の議員が代表質問を、9・12・13日には11人の議員が一般質問を行い、提出された議案及び市政全般にわたる活発な議論が交わされました。

開かれ、本会議で付託された議案や請願などの審査が行われました。その結果、議案19件がいずれも原案のとおり可決あるいは同意されました。また、認定2件は継続審査、承認2件は承認、意見書案5件については原案可決3件、否決2件、さらに請願4件については、一部採択1件、継続審査3件の議決結果となりました。

12月定例会の開催日程(予定)

12月定例会は、12月2日(金)から12月21日(水)まで開催される予定です。

なお、12月13日(火)の休会日は、一般質問日となることもあります。

正式な日程は、11月25日(金)開催予定の議会運営委員会で決定します。

☆ 質問議員名は、12月1日

(木)の議会ホームページ「市議会 定例会の日程について」に掲載します。

12月 2日(金) 本会議(開会、提案説明)
12月 8日(木) 本会議(一般質問)
12月 9日(金) 本会議(一般質問)
12月12日(月) 本会議(一般質問)

12月13日(火) 休会日

12月14日(水) 委員会(環境下水・産業経済)
12月15日(木) 委員会(市民福祉・都市企業)
12月16日(金) 委員会(文教消防・総務理財)
12月21日(水) 本会議(表決、閉会)

※ 時間はいずれも午前10時から(予定)

■ 25年以上議員
在職特別表彰
田坂 信一

■ 20年以上議員
在職特別表彰
猪野 由紀久

永年勤続議員表彰

《9月定例会》
■ 公平委員会委員
門屋 淳子

■ 固定資産評価
審査委員会委員
長森 野 協

選任等をされた方々

可決された主な議案

予算

本会議の審議を経て原案可決された9月補正予算の主な事業は次のとおりです。

● 商店街の保育室を整備

商店街の空き店舗を活用した保育室を整備し、利用二丁の高齢3歳未満児の保育定員を拡充することで待機児童の解消を図るとともに、託児事業等も行うことで商店街にきた子ども連れ世帯の利便性の向上を図ります。

● 防災危機管理体制の構築

重大な危機や災害に即応する体制の強化に向けて、危機管理業務と防災業務を統合した新たな組織を市長部局に設置します。

● 消防施設の震災対策

南海地震をはじめとする大規模災害に備えた消防力の充実強化を図るため、海水利用型消防水システム等の配備に向けて消防車両庫を整備します。

● 小中学校校舎の耐震化

災害時の避難場所ともなる中学校校舎の耐震性を確保するため、耐震補強工事を行います。

● 瀬戸内・松山構想の推進

スベニャルドラマ放送終了後も継続した安定的な観光客獲得を図るため、「瀬戸内・松山」構想の実現に向け、官民一体となって、対岸の広島地域との連携を図りながら、瀬戸内海をテーマとした新たな周遊型観光商品の展開・広報PRを行います。

● 中京圏プロモーションを展開

新たなマーケットとして期待される中京圏において、松山の観光情報や地元産品等の情報発信拠点を整備し、「地産地消」の実現に向けたプロモーションを積極的に展開することにより、観光交流人口の拡大と地域経済の活性化を目指します。

● 第10回台北市新北投温泉まつりへの参加

台北市新北投温泉まつりにおいて、道後温泉と新北投温泉の温泉交流調印式典や道後神輿の参加等を実施することにより、台北市との新たな市民交流と台湾からの更なる観光誘客を図ります。

● 城山公園の整備

老朽化が懸念される松山城本丸及びその周辺の防災設備等の整備について、昨年度策定された「松山城本丸防災設備等整備基本計画」に基づき実施設計委託を行います。

● 松山城ロープウェイの維持管理

松山城ロープウェイ運行装置のうち、老朽化している原動滑車、制御装置、搬送等を更新します。

● 中央公園の改修整備

坊っちゃん・マドンナスタジアムのスコアボードを国際基準に適合するポールカウント表示するとともに、摩耗が著しいテニスコートの人工芝を張り替えるなどの改修工事を行います。

意見書

(全文は市議会のホームページに掲載しています)

● JR三島・貨物会社に係る税制特例の継続等を求める意見書

JR三島・貨物会社に係る固定資産税を減免する特例措置を継続すること、鉄道事業各社における鉄道車両、軌道用車両などの動力源用軽油に対する軽油取引税については、現在の減免措置を継続すること等を国に要望する。

● 震災復興のための財源確保を求める意見書

震災復興や原発事故の早期収束に向けた財源確保については、早急に人件費の削減や施策の見直しを積極的に行い、安易に増税を行わないよう、国会議員および国家公務員を2割以上削減すること等を国に要望する。

● 災害廃棄物の広域処理における国の対応等を求める意見書

被災地の災害廃棄物広域処理を進めるためには、受け入れ側の地方自治体や住民の理解が最も重要であることから、放射能による環境汚染及び放射性廃棄物の処分方法の確立等を含む具体的な法的整備を早急に行うこと等を国に要望する。

代表質問

田坂 信一 議員
(松山維新の会)

危機管理担当部長の設置について

問 市長部局に、新たに危機管理担当部長を設置し、危機管理と防災業務の一元化を図るなど、危機管理体制の充実、強化に踏み切ったが、どのような効果を見込んでいるのか。また、消防局との連携はどうなるのか。

答 危機管理と防災の総合調整機能の一元化により、調整役と現場対応の役割分担が明確になる。また、各部局

八木 健治 議員
(公明党議員団)

被災者の受け入れ状況・生活再建

問 大震災発生後、各自治体は様々な支援をしてきたが、想定範囲を超えた被害のため、既存の枠組みを超えた対応が求められている。本市において、被災者の受け入れはい

つから始まり、何世帯何人を受け入れているか、また生活再建への

が緊急時の業務に専念できる環境が整ったことにより、迅速・的確な対応が可能となる。さらに、危機管理担当部長付きの組織に防災対応経験のある消防職員を引き続き配備することにより、人的な繋がりの面からも強力な連携体制を築くことができると考えている。

商店街保育事業の概要について

問 商店街の空き店舗を活用した保育事業は、同じ場所で行う託児や子育て相談とあわせ、待機児童の解消のみならず、子育て家庭を支援していく取り組みとして、大いに期待するものである。大街道商店街の空き店舗を選定した経緯及び保育事業の概要について伺いたい。

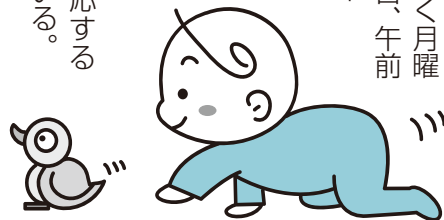
手助けなど、どう対応しているのか。

答 本市においては、3月16日から市営住宅を活用し、受け入れを開始した。9月1日現在、73世帯165名が避難され、支援対象者は62世帯144名である。現在、県と連携し、安定した生活が送れるよう、支援に努めている。また、緊急雇用創出事業において被災者を優先雇用できるよう、要件緩和を行い、各種就労支援機関との連携を図りつつ、支援に努めたい。

台北市松山区との交流推進

問 台湾松山区との交流は平成19年に始まり、様々な交流事業を実施しているが、今回、温泉交流調印式に至った

答 実施場所については、「耐震性や避難経路などが建築基準法等法令に適合するか」「保育に必要なスペースを確保できるか」など多角的な視点で調査を行い選定した。また、市内で認可保育所を運営する法人に委託し、日曜・祝日を除く月曜日から土曜日、午前8時から午後6時まで、3歳未満児を対象として15名の保育を行うもので、延長保育にも対応することとしている。



その他の質問事項

水問題、駐車施策、歩行者と自転車にやさしいまちづくり

経緯や、今後どのような成果が期待されるのか伺いたい。また、台北市との姉妹都市提携も考えられるが、見解を問う。

答 本年は、中華民国建国百年、また「台北市新北投温泉まつり」が10回の節目を迎える記念すべき年であり「台北市温泉発展協会」から、両温泉の民間交流の発展を目的に「温泉交流協定」の締結が提案された。こうしたことにより道後・松山の知名度の向上やさらなる誘客に繋がるものと考え

る。姉妹都市提携については、観光分野の民間レベルの交流が始まるので、今後の取り組み等を注視したい。

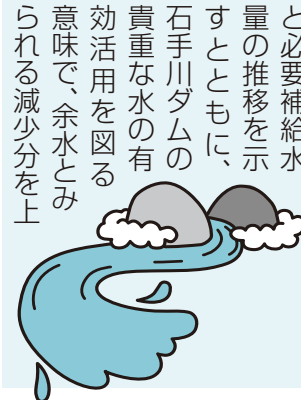
その他の質問事項

財政問題、防災に関するアンケート調査、学校施設の防災機能の向上、若者の雇用確保

砂野 哲彦 議員
(自民党議員団)

石手川北部地区のかんがい排水事業について

問 石手川北部でも、放棄樹園地の増加や担い手不足により、必要補給水量は当初よりかなり減少していると思うが、当初から現在の受益面積と必要補給水量の推移を示すとともに、石手川ダムの貴重な水の有効活用を図る意味で、余水とみられる減少分を上



水に転用してはどうか。

答 受益面積は、当初計画500ヘクタールから22年度では520ヘクタールに減少しているが、県が必要量を13年度の水利権更新時に見直した方が変更はないと伺っている。また、取水量の実績は、平成3年度29万7千立方メートルで、22年度は40万7千立方メートルとなっている。上水道への転用は、毎年、石手川治水調整協議会で取水制限を受けていることなどから、上水道の恒常水源とはならないと考えている。

久谷地区の文化財の活用について

問 道後湯築城の出城であった荏原城を拠点に、久谷地区の文化財めぐりのフ

ルドミュージアムを描くことができる。ほかに、四国八十八カ所参り発祥の地、文殊院、国指定重要文化財の渡部家があり、観光、学習の資源が豊富であるが、同地区の整備についての見解を問う。

答 久谷地区は、坂の上の雲フィールドミュージアム構想のサブセンターゾ

ンの一つとして位置づけ、地域の方々とタイアップした事業を実施している。また、タウンミーティング等を十分活用しながら、久谷サブセンターゾーンのさらなる整備について検討していきたい。

その他の質問事項

市発注工事疑惑説明、ほ場整備事業、面河ダムの農業用水、有望品種への転換実績、愛媛国体の準備状況、野球場の整備

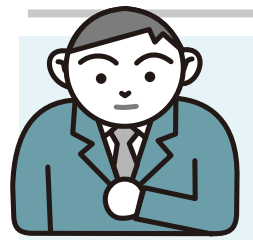
としているのか。

答 本市では、積極的な説明を行うとともに、仮に失敗してもきちんと報告すること、信頼される行政づくりに取り組んできた。こうした姿勢はこれからのまちづくりに不可欠である。また、常に市民サービスを意識し、事業の必要性や効果を、直接市民に問いつけるなど、これまで以上に信頼される行政の実現を目指していきたい。

市民への説明責任について

松岡 芳生 議員
(新風・民主連合)

問 行政運営の根幹である市民との信頼関係を築くには、説明責任をどう果たすかが重要と考える。前市政は、情報公開を消極的な概念とし、「失敗しても報告する」というコンセプトを基本に、市民に信頼される行政づくりを目指していたが、以前に比べ後退している印象がある。市長は説明責任をどう果たそう



「一部委員が異議申し立てに至った背景は

一部委員が異議申し立てに至った背景は

問 裏金疑惑説明に向け、本市では4人の専門委員から答申を受け「不正な上乗せはなかった」と結論付けた。しかし、一部委員が「答申の意見

がねじ曲げられた」として異議申し立てを行うに至ったが、その背景と今後の対応について問う。

答 調査目的の「核心」部分の捉え方が委員と市双方で乖離していることが原因だと考える。市の調査目的は、市の発注工事費に不正な上乗せがあったのか否かを核心部分としたが、委員は、民間業者間で支払われた工事代金の中から裏金が捻出され、政治資金として使用されたという事実の有無についての全容説明を核心部分とした。今後は、市の調査目的、諮問の内容、市の結論に至った経緯などをご理解いただけるよう努めていきたい。

その他の質問事項

財政運営、松山観光コンベンション協会運営補助金、教育行政